

頭集 巻特

当たり前前に過ごせるこの日々が、いつまでも続きますように
平和つていいね

コープぎふは「台所から平和を！」をスローガンにかかげ、様々な平和の活動を進めてきました。戦争のない平和な世界の実現のために、みなさんも平和の取り組みに参加しませんか？

ピースウォーク 原水爆禁止国民平和行進

国民平和行進は1958年に、被爆地広島から「核武装阻止と民主主義擁護のために」とプラカードをかかげた西本敦さんが、たった一人で東京をめざして歩いたことから始まりました。核兵器廃絶を訴えて、毎年国民平和行進が全国各地で行われます。

「東京 ↓ 広島コース」

- 5月6日 東京都 夢の島公園出発
 - 5月7日 神奈川県
 - 5月19日 静岡県
 - 5月31日 愛知県
 - 6月11日 岐阜県
- 県内で行われた国民平和行進
ぎふ折り鶴平和行進



▲愛知 → 岐阜
引き継ぎ式
平和行進 (6/11)

▲岐阜市平和行進
(6/13)

▲郡上市平和行進
(6/12)

- 6/14 関市 → 岐阜市
- 6/15 岐阜市 → 大垣市
- 6/16 大垣市 → 関ヶ原町
- 6月16日 滋賀県
- 6月21日 京都府
- 6月26日 奈良県
- 6月30日 大阪府
- 7月7日 兵庫県
- 7月16日 岡山県
- 7月26日 広島県
- 8月4日 平和記念公園

ヒバクシャ国際署名

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える署名運動で、国内外のすべての国に「核兵器をなくす条約に参加すること」を働きかける国際的な運動です。岐阜県では2020年までに百万筆を目標に、署名に取り組んでいます。

■木戸季市事務局長 (長崎で5歳のときに被爆)

2020年に向けての会議などもあり、やりとげないといけないという思いで緊張しています。ヒバクシャ国際署名が目標としている2020年まであと少しです。「あの日」何が起ったのか、被団協運動の「人類を救うため」という精神、今何をしようとしているのか、をしっかりと訴えていきます。



左 木戸事務局長 右 濱住事務局長次長

6月10日の総代会では、組合員より署名に関する発言がありました。

私はヒバクシャ国際署名岐阜県民の会に所属し、この署名を広げていきます。みなさんにお願いです。「署名をする人」から「署名を呼びかける人」になってください。



本業市 赤塚さとみさん

引用 被爆者国際署名会 H.A.K.G. <https://hibakusha-appeal.net/>

ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ

被爆地ヒロシマ・ナガサキを実際に訪れ、平和について考える活動です。資料館の見学や碑めぐり、式典への参加を通して、戦争体験の風化が叫ばれる今日、改めて被爆地で戦争と平和について考え、体験します。

「朝が夜になって、人がおぼけになった」

被爆者の話で一番心に残っている言葉は、「朝が夜になって、人がおぼけになった」という言葉です。一発の原爆で、晴れていた広島が一瞬にして真っ暗になったそうです。人々の命をつばう戦争はだめだと思いましたが、資料館に行った時は、全部の資料が悲惨で最後まで見れませんでした。原爆が落ちる前の広島と、落ちた後の広島は全然違いました。2018年ピースアクションinヒロシマに参加された福手明さん小学6年生の感想より抜粋



▲ピースアクション in ナガサキ



▲ピースアクション in ヒロシマ

平和カンパ

平和のさまざまな取り組みは、組合員の平和カンパをもとに行っています。平和を願う気持ちをぜひ、「平和カンパ」というカタチにご協力下さい。OCR注文用紙、e-フレズ、電話注文より通年募金を受け付けております。

商品名	注文番号	1口
平和カンパ	3954	50円
	3983	100円
	3955	500円
	3984	1,000円

※店舗をご利用の方は、各店舗に募金箱が設置しております。

平和への願い メッセーヂ



今日日本は戦争もなく平和と言える環境にあると思いますが、世界には貧困や差別、戦争で苦しんでいる人々も大勢いるので、争ったりいがみ合うことのない世の中になるといいの、と思います。(岐阜市 ゆーしょーママさん)

1人の幸せが世界の幸せ、平和に繋がっていると思います。自分、家族、友人、まずは身近な所から幸せにしていきたいです。(岐阜市 ゆっこさん)

平成は戦争のない時代でしたが、令和も戦争のない平和な時代になるように祈っています。(岐阜市 けいさん)

平和であることの幸せを、子どもたちにどうしたら深く考えてもらえるのか、私達大人の使命だと思います。(大垣市 卑弥呼さん)

戦争体験 聞き書き集

戦争体験者の高齢化とともに戦争の記憶が風化しつつあります。平和の大切さを後世に残すために、戦争および戦時下のくらしを体験した方の話をお聞きし、文字に書き記す「戦争体験聞き書き集」を毎年発行しています。冊子を岐阜県立図書館をはじめ、主な市町村立図書館に設置しています。

「戦争は絶対にとらいたかん！」

私のひいおばあちゃんが、今の私と同じ11才の時に戦争が始まりました。ひいおばあちゃんは小学校を卒業した後に女学校に入ったけど、学徒出陣で落下傘の糸を作る工場で働かされました。勉強をしたくてもできないし、青春なんて何もなかったと言っていました。今みたいに甘いおやつなんて何もなくて代わりにかぼちゃやさつまいもを食べていたそうです。ひいおばあちゃんは話の中で何度もくり返し言っていました。

11集(2017年発行)より、小椋彩利さん小学5年生の聞き書きから抜粋

